

令和7年度 岐阜市立梅林中学校 全国学力・学習状況調査の結果及び指導改善

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 本校の結果概要

	全国の平均正答数と比べた本校の正答数	全国の平均正答率と比べた平均正答率
国語	やや上回っている	やや上回っている
算数	上回っている	上回っている
理科	上回っている	上回っている

3 分析及び具体的な授業改善の方向

(1) 国語

<課題の見られた問題①>

出題の趣旨	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
-------	---

<要因と指導改善①>

・資料を用いて、自分の考えが伝わるような話し方の工夫をとらえることや、どのように工夫するとよいかを説明することができた生徒が約3割と少ない。総合的な学習の時間のまとめなど、他教科においても、伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるために、図表やグラフなどを用いる機会を増やしていくよう指導していく。

<課題の見られた問題②>

出題の趣旨	読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。
-------	--

<要因と指導改善②>

・手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見つけることができない生徒や、修正した方がよいと考えた理由を書けない生徒が見られる。タブレット端末の使用により、画像による記録や予測変換の使用等、実際に書く機会が減っているという実態もあるが、文章に触れる機会も著しく減っていることが考えられる。そこで、学習における感想や振り返りを書く場面や、日常生活において振り返りを書く場面など、様々な書く場面において、漢字を使うことや書いた文章を見直すこと、相手意識をもって読み返すことなどを指導していく。

(2) 数学

<課題の見られた問題①>

出題の趣旨	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。
-------	---

<要因と指導改善①>

・図表やグラフなどの情報から、比例や反比例を用いて、具体的な事象を捉え考察し表現する問題に対して無解答が約3割と多い。国語の課題同様、総合的な学習の時間のまとめなど、他教科においても、伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるために、図表やグラフなどを用いる機会を増やしていくよう指導していく。

4 留意事項

・本調査の結果は、学力の特定の一部であること、学校における活動の一側面であることに留意し、児童の全般的な学習状況への指導・改善等につなげるよう留意します。